

平成25年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC) 拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者			
事業開始・ 終了(予定) 年度	昭和63年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長 伊藤 毅			
会計区分	一般会計	政策・施策名	基本目標Ⅶ 分担金・拠出金 具体的施策Ⅶ－3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、 通知等	国際赤十字・赤新月社連盟規程第34条第3項及び第4項				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)は、各国赤十字・赤新月社の国際連合体であり、1963年には赤十字国際委員会(ICRC)と共にノーベル平和賞を受賞しており、国際的評価も高い。また、IFRCは案件の実施にあたって現地の赤十字・赤新月社と密接に協力している。IFRCに拠出することにより、我が国の人道支援に対する積極的な姿勢を国内外に示すと共に、現地機関のエンパワーメントに繋がる支援を実施する。						
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	IFRCは、自然災害・緊急災害時の被災者及び難民等に対する救援活動を主な任務としている。災害時に各国赤十字・赤新月社間の調整や国際救援活動の指揮にあたる他、各国社の人道機関としての能力強化のための開発協力や、各国社の事業全般(特に健康の増進、病気の予防、苦痛の軽減)に関する協力の他、国際機関との協力も行っている。また、IFRCの活動は現地の赤十字・赤新月社を通じて実施されるため、政治的または治安上の理由により他の国際機関がアクセスできないような地域で案件を実施することが可能となっている。このようなIFRCの活動を通じて被災者等を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	—	—	—	—	
		補正予算	678	604	324	—	
		繰越し等	—	—	—	—	
	計		678	604	324	—	
	執行額		678	604	324	—	
執行率(%)		100%	100%	100%	—	—	
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	災害被害者の救援の実現 (IFRCによる緊急支援の対象者数) (達成度は、要請金額に対する受領金額で算出) (注)機関全体の目標及び実績		成果実績 万人	750	366	433	—
			達成度 %	84%	48%	50%	—
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	緊急アピールの発出回数 (注)機関全体の指標及び実績		活動実績 (当初見込み) 回	30	25	36	—
				()	()	()	()
単位当たり コスト	44.4スイスフラン/人		算出根拠	687,045,793スイスフラン(2009年から2011年末までの緊急アピールの総額)÷1,549万人(緊急アピール全体の支援対象者数)=44.4スイスフラン			
平成 25 ・ 26 年度 予算 内訳	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	計						

事業所管部局による点検						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	IFRCによる事業は、主に開発途上国の災害等に対する草の根レベルの能力強化に繋がるものであり、ニーズは多く、また、優先度が高い。各国の政府に加えて、各国の赤十字・赤新月社もIFRCに対する拠出を行っているが、災害時の緊急支援等は、国として実施すべきである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	IFRCは、現地の赤十字・赤新月社を最大限活用する形で事業を実施しており、費用対効果は極めて高い。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	IFRCが事業を実施する際は、現地の赤十字・赤新月社を活用するとともに、赤十字ボランティアを動員しており、確実な事業の実施及び事後のフォローアップ体制が整っているなど実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	引き続き効率的な事業の実施を求めていく。					
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
- -						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
- -						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	79	平成23年	75	平成24年	95